

校園名：岐阜大学教育学部附属中学校

キーワード：大学のガバナンス 免許状更新講習 効率的で効果的な講習会 地域のモデル校

先進的取組について

大学のガバナンスの下に附属学校を有効活用した事例

「免許状更新講習における附属学校と大学の連携」

1 附属学校での免許更新講習を行う意義

次の3点を中心に行なうことで、極めて効率的で効果的な講習会ができる。

- ・大学教員と附属学校教員とが連携して実践し、県内外の教員に伝えることで、地域のモデル校としての効果を図ることができる。
- ・附属学校の実践発表(子どもの発達段階にあった教育活動の発表)を直接参観してから、大学教員の講義を受ける事で、実践理論を結びつけやすくなるだけでなく、効率的に実践につなげられる。
- ・大学教員のもつている、先進の研究を県内外の現場で働く教員に広く伝えることができる。

2 講習数と受講者数

実践演習の開催状況推移

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
講習講座数(講座)	11	11	11	11	12	11	12	11	11
受講者数(人)	52	115 (63↑)	131 (16↑)	154 (23↑)	167 (13↑)	147 (20↓)	149 (2↑)	175 (26↑)	185 (10↑)

3 講習の評価

実践演習の事後評価(4段階評価) H29 年度

	4	3	2	1
1 本講習会の内容・方法についての総合的な評価	135	48	2	0
2 本講習会を受講したあなたの最新の知識・技能の習得の成果についての総合的な評価	128	52	5	0
3 本講習会の運営面(受講者数、会場、連絡等)についての評価	135	48	2	0

4 効果

- ・中期目標である、附属学校と教育学部での連携による教員研修が実現できている。
- ・附属学校教員と大学教員間での交流が増えてきている。
- ・県内外の参観者が増え、研究に関して様々な意見を聞けることが、各学校における今後の研究実践につながっている。